

日 時：令和5年(2023年)12月11日(月) 午前10時～午前11時15分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭	
副学長	鈴木 元	
事務局長	倉光 麻里子	
文学部長	村尾 治彦	
環境共生学部長	石橋 康弘	
総合管理学部長	澤田 道夫	
共通教育センター長	山田 俊	
地域・研究連携センター長	柴田 祐	(リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎	(リモート参加)
国際教育交流センター長	レイヴィン リチャード	(リモート参加)
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春	
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎	
熊本県公立高等学校長会長	岩本 修一	

○監事

弁護士	本田 悟士
公認会計士・税理士	吉川 榮一

○事務局

加藤事務局次長、二宮総務課長、國武企画調整室長、三隅教務入試課長、山村教務入試課教務班長、藤本教務入試課教務班参事、塩田教務入試課教務班主事

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 副学長の選考について

学長から、資料1に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・現副学長の任期満了に伴う次期副学長の選考について、審議をお願いしたい。

※ 審議の間、鈴木委員(副学長)、退室。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

※ 鈴木委員(副学長)、再度入室。

② 第4期中期計画(R6-R11)(素案)について

事務局企画調整室から、資料2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・10月に示された県の中期目標(案)に沿って作成した「策定方針」や「重点的に取

り組む事項」を踏まえて作成した第4期中期計画の素案について、審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、事務局から後日改めて当該素案について各委員に照会することとなった。

③ 令和6年度(2024年度)特別選抜における合格者決定等について

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・特別選抜入学試験と編入学試験を実施した。
- ・特別選抜の選抜方法は、小論文及び面接又は総合問題及び面接の組み合わせで行い、各学部の教授会で合否の判定を行った。
- ・学校推薦型選抜、農業・林業・水産・工業科学学校推薦型選抜で合わせて136名の応募があり、12月3日(日)に入学者選抜を実施。昨年度と比べると20名程度の減だが、例年と比べるとやや多い。
- ・本会議で承認いただけたら、本日13時30分から合格発表を行う予定。

1) 学校推薦型選抜

①文学部

村尾委員(文学部長)から、資料3-2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・日本語日本文学科について、受験者10名のうち、上位5名を合格としたい。
- ・英語英米文学科について、受験者12名のうち、上位7名を合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

②環境共生学部

石橋委員(環境共生学部長)から、資料3-2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・環境共生学科環境資源学専攻について、受験者8名のうち、上位4名を合格としたい。
- ・環境共生学科居住環境学専攻について、受験者8名のうち、上位5名を合格としたい。
- ・環境共生学科食健康環境学専攻について、受験者16名のうち、上位4名を合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

③総合管理学部

澤田委員(総合管理学部長)から、資料3-2に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・総合管理学科について、受験者79名のうち、上位51名を合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

2) 農業・林業・水産・工業科学学校推薦型選抜

石橋委員(環境共生学部長)から、資料3-2に基づき、以下のとおり説明があった。

・環境共生学部環境共生学科環境資源学専攻について、受験者3名のうち、上位2名を合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

3) 文学部英語英米文学科 編入学試験

村尾委員(文学部長)から、資料3-2に基づき、以下のとおり説明があった。

・2年次への編入学について、受験者2名全員を合格としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

④ 環境共生学部環境共生学科食健康環境学専攻助教・助手採用人事について

石橋環境共生学部長から、資料4に基づき、以下のとおり説明があった。

・管理栄養士養成施設として食健康環境学分野を担当する教員は必ず管理栄養士の資格を持っている者を採用する必要があり、助教・助手も同様である。

・今回2名の応募があり、採用予定者1名を選定し、職位については、全資格審査委員会において助手での採用が適当であると判定している。御審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑤ 教員の採用に係る枠取りについて

1) 建築構造学(環境共生学部)

石橋委員(環境共生学部長)から、資料5-1に基づき、以下のとおり説明があった。

・定年者補充のため、構造建築学を専門分野とする教員の枠取りを行いたい。

・担当する科目については前任者を引き継ぐこととし、職位は准教授又は講師としたい。

2) 建築設備工学・建築環境工学(環境共生学部)

石橋委員(環境共生学部長)から、資料5-2に基づき、以下のとおり説明があった。

・定年者補充のため、建築設備工学・建築環境工学を専門分野とする教員の枠取りを行いたい。

・担当する科目については前任者を引き継ぐこととし、職位は准教授又は講師としたい。

3) 人的資源論(総合管理学部)

澤田委員(総合管理学部長)から、資料5-3に基づき、以下のとおり説明があった。

・定年者補充のため、人的資源論を専門分野とする教員の枠取りを行いたい。

・昨年度承認いただいた経営組織論を専門分野とする教員の枠取りについて、今年度募集を行ったが残念ながら不調となった。

・学部で検討したが、人的資源論はいわゆるリーダーシップ論やモチベーション理論、人材育成等が絡むため、学部特性を考慮すると経営組織論より人的資源論を優先させるべきであるとの結論となったため、担当する科目のうち経営組織論については

人的資源論に変更させていただきたい。

- ・職位は、学部の年齢構成を考慮し、教授又は准教授としたい。

4) 社会調査法（総合管理学部）

澤田委員（総合管理学部長）から、資料 5-4 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・転出者補充のため、社会調査法を専門分野とする教員の枠取りを行いたい。
- ・社会調査法に関する科目は、総合管理学部で取得可能な社会調査士に関連する科目。
- ・枠取り理由として新規分野も挙げているが、データサイエンスに関連する科目を加えている。
- ・職位は、准教授又は助教としたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑥ 教員の昇任人事について

事務局総務課から、資料 6 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・文学部教員 1 名について、講師から准教授への昇任について、御審議いただきたい。
- ・11 月 6 日、全学資格審査委員会において審査が行われており、昇任が適当であると判定している。
- ・なお、資料に出版証明書を添付しているが、当該図書が出版されたら研究業績条件となっている著書数を満たすこととなる。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

⑦ 令和 6 年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料 7-1 及び 7-2 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・今年度からの継続採用分については本学における十分な実績を、新規採用分については経歴やこれまでの実績を、それぞれ担当教員、各学部等から審査の上推薦があったので、御審議いただきたい
- ・今回の推薦があったのは採用予定の 8 割程度だが、残りの方については、今後の教育研究会議で順次御審議いただいた後、全員を令和 6 年(2024 年)4 月 1 日に採用とすることとしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

① 令和 5 年度(2023 年度)非常勤講師の採用（追加分）について

事務局教務入試課から、資料 8-1 及び 8-2 に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・今年度後学期実施の全学共通科目のうち 2 科目について、急遽新たな非常勤講師の採用が必要となり、規則に従って手続きを行い、既に採用したので報告する。

4 その他

次回以降の日程

令和 5 年度(2023 年度)第 11 回 中止

令和 5 年度(2023 年度)第 12 回 令和 6 年(2024 年)1 月 22 日(月)午後 2 時 30 分～
本部棟 2 階大会議室

5 閉会